

【戦うオヤジの応援団 2017 年度状況報告と収支報告】

■状況報告

2017 年度も昨年同様、戦うオヤジの応援団事務局としては、全国の活動拠点である S P の活動状況を紹介するために練習会や交流会の情報を発信することと、個人メンバーに対する日常的業務を継続していくことで、メンバー同士のネットワークを維持するための活動を行ってまいりました。

2018 年 4 月現在で定期的な活動を継続している S P は、北海道札幌市、群馬県高崎市、千葉県千葉市、千葉県柏市、千葉県浦安市、埼玉県川口市、埼玉県春日部市、東京都三多摩地区、東京都新宿区、東京都文京区、東京都港区、神奈川県横浜市、神奈川県相模原市、長野県飯田市、静岡県静岡市、岐阜県各務原市、愛知県春日井市、愛知県安城市、大阪市西区、大阪府貝塚市、和歌山県田辺市、兵庫県丹波市、兵庫県西宮市、兵庫県神戸市、香川県高松市、愛媛県松山市、福岡県福岡市、沖縄県那覇市の 28 ヲ所となっています。

S P が主催した練習会や交流会は年間で合計 291 回。1 回あたりの参加者を平均 12 名とした場合、延べ人数にすると、3500 人近くの皆さんが S P を通じて音楽活動を行ったこととなります。

2017 年 4 月～2018 年 3 月の間に新たにメンバー登録をいただいた皆さんは 94 名（前年度は 69 名）で、3 月末時点の登録メンバーは 2150 名となりました。

また、2017 年度に正会員として登録・更新をいただき、年会費のお支払いをいただいた方は、登録メンバーの 9.2%（前年度は 11.3%）、198 名（前年度は 233 名）となっています。

■収支報告（別紙報告書の解説）

- ・お茶ノ水事務所の賃貸契約の解消に伴い、原状回復費用として 40 万円を計上していましたが、交渉の結果、不要な備品の処理なども含めて 30 万円で事務所の撤去を完了しました。
- ・年 2 回程度の機関誌の発行を検討していましたが、仕事の関係などで制作の時間が確保できないため発行は断念することとし、取材費や印刷代などで計上していた 36 万円程度の出費がなくなりました。
- ・これまで、会の事務所を維持するために、6 社程度の法人賛助会員から年会費をいただいていたが、家賃支出がなくなると共に、賛助会員に対して年会費に相当するサービスを提供できないため、2017 年度から年会費を免除することとしました。年度途中から新たに賛助会員になった 1 社のみ年会費をいただくこととし、15 万の収入予定は 2 万円になっています。
- ・正会員の年会費収入については、260 名を予定していましたが、198 名という結果となり、単年度では 20 万円弱の収入減となっています。
- ・総収入は当初予算よりも 12 万円程度少ない 111 万 6049 円でしたが、総支出が当初予算よりも 42 万円程度少ない 60 万 4851 円に抑えることができましたので、借り入れ分の 5 万円を返済した後の収支合計は 46 万 1198 円の黒字となっています。